

古木・名木見て歩き報告

主催 環境文化推進市民会議 共催 湖南流域環境保全協議会
協働 滋賀県南部振興局

平成18年11月11日（土）に湖南地域の古木・名木を訪ねました。当日は、あいにくの雨でしたが、42名の方が参加くださいました。

講師に、「滋賀の名木を訪ねる会」の辻 宏朗先生、今井 洋両先生にお越し願いました。



五百井神社で環境文化推進市民会議の川井会長からごあいさつがありました。



五百井神社の杉の木です。コブができているのは自分で傷を治しているためで、人間は木に及ばないが長生きする努力が大切と教わりました。



大宝神社のクスノキです。クスノキは樟腦の原料であり、代表的な照葉樹です。



参加いただいた42名の方々です。



守山市今宿の一里塚のエノキです。街道の向かい側にもあって、対になっていたとのこと。



屯倉（みやけ）神社です。神社入り口のクロガネモチはやや弱っていましたが、滋賀の名木として、大切に保存されています。イチヨウの木が鮮やかな黄金色に輝いていました。



屯倉神社内にある中山記念会館（自治会館）をお借りして、昼食をいただきました。神社総代さん、自治会長さんからご挨拶と地域の歴史をお話くださいました。暖かい心遣いありがとうございました。



長澤神社のフジの木です。フジは巨木というイメージはありませんが、幹の太さは他では見られず流石という印象です。このフジは白い花が咲く珍しい木です。



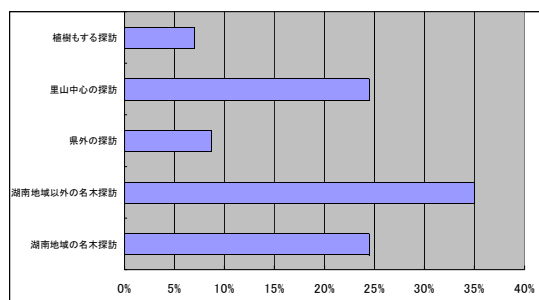
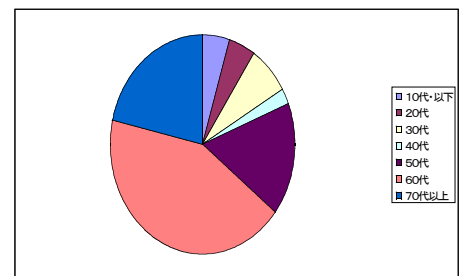
長澤神社です。フジの一部が移植され、神社内にあります。ここでは、地元の東郷 尚さんから神社の由来、木辺本山とのかかわりやアヤメの里として、地元の方が保存しておられることを伺いました。



高木神社のナギの木です。神の木といわれ、この大きさは国内でも珍しいものだそうです。

アンケート結果から

- ・ 参加者は、年代別にみると、もっとも多い60歳代が43%で、50歳代以上で81%でした。今後、20～40歳代の参加が得られるよう努力します。
- ・ 参加のきっかけは、振興局からのお知らせが34%、市広報、京都新聞、知人から聞いた人が13%～18%でした。やはり、マスコミ、くちこみの力は大きく、ぜひ、まわりの人たちを誘っていただくことをお願いします。
- ・ 参加の動機は、緑に関心があるが39%、歴史・文化に興味があるが36%で大半を占めました。自然環境と地域を考えた企画に努めます。
- ・ もっとも印象に残った場所は、屯倉神社が27%で地元の方々の親切的対応とクロガネモチが老木となっているにもかかわらず、生命力を感じさせることがその理由のようです。五百井神社のスギも22%で、荘厳な雰囲気圧倒されるからではないでしょうか。



この「古木・名木見て歩き」は今後も続けてほしいとのご意見が多く、湖南地域以外や里山中心の探訪のご要望がありました。



ご意見、活動参加の申し込みは、

南部振興局環境森林整備課

☎ 077-567-5444

FAX 077-564-1733

まで

◎参加いただいた人たちは、自分のことから環境を良くしていこうというご意見が多く、ここから、さらに環境保全の輪が広がっていくよう、今後も活動を展開してまいりますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。